



金融財政

2007年(平成19年) 2月15日 (木) 第9809号 (購読料金 月額税込み5,565円)

ネットの怪物

お茶の水女子大学教授 篠塚英子



「You Tube」というのを「存じですか?」米国生まれの動画共有サイトで、

誕生以来わずか20カ月余りで、1日の動画投稿数が6万5千本にも上り、世界中がアクセスしている怪物のことである。かくいう私も石井威望東大名誉教授から教えていただいたばかりの受け売りにすぎない。

石井先生とは住友生命保険の役員会で毎月1度お会いする。そこでの雑談の主演は石井先生で、科学・技術の最新ナマ情報が入手できる。常時、最先端の電子製品をポケットに複数運んでいる(ウェアラブル)。先日、何気なくインターネット検索で「石井威望」と引いてみたら、講演依頼者向けの講演料書き込み欄があった。いつもタダで得ていた情報は、私には手の届かない超高価格らしかった。数カ月前にYou Tubeの存在を覚えてもらった。だがその時の第一印象は私も含め高齢者には、何やら胡散臭いものであった。それが年が明けた1月末、再度身近な話題に上ったのは、政治の世界だったからであろう。

米国のヒラリー・クリントン民主党議員。大統領出馬宣言では記者会見も開かなかった。その理由はYou Tubeが嵐のような威力を發揮したこと。支持者の書き込みがさらなる書き込みを招き、記者会見による情報発信を過去のものに変えてしまった。その頃日本では、柳沢伯夫厚生労働大臣の舌禍事件で国会進行が危ぶまれていた。だがこうした政治事件では、You Tube)そが力を發揮し、日本でも近い将来、例えば柳沢支持者の反論反支持者の再応酬等の展開がなされ、世論形成ひいては政権さえも一気に逆転する予兆ありという。私も「You Tube」と7文字キーボードを打ってみた。あつという間に、政治時事、映画、スポーツなど世界中の無料動画の渦中に引きずり込まれた。これらを若者文化であるとして、私たちが無理解のまままでいたら、一体どうなるであろう。動画情報に呑み込まれた若者と、その世界から断絶した中高年者世代とを結び付けるものは皆無に近い。情報の受け手の消費者が情報を発信する時代、何とも空恐ろしい時代に入ったものである。

CONTENTS

- 解説 格差拡大と賃金デフレ、背景にグローバル経済 (真壁昭夫) 2
- BANCO 取り残される日本 (富田俊基) … 3
- 照一隅 金融ビッグバンの再起動を (文) … 5
- マーケットレーダー (牧野義司) …… 9
- インタビュー 日興との提携を継続、海外の法人分野を強化 —横尾敬介みずほ証券次期社長に聞く …… 10
- インサイド 財界人事の読み方 …… 11
- 政経深層 尾を引く「愛知ショック」(増山栄太郎) …… 13
- インタビュー <連載> 拡大する投信市場のいま—(10) —西田保男・国際投信投資顧問専務 …… 14
- あと・らんだむ (神崎倫一) …… 18
- 財政金融ウォッチング <1月前半> …… 19
- 北風・南風 大阪信金 (大阪) …… 20